

# 2 祭り囃子——伝承の実際

## 1 祭り囃子とは

日本にはさまざまな民俗行事があり、その中で芸術的要素が多いジャンルを民俗芸能と呼んでいます。本欄では民俗芸能の中でもとりわけ音楽的要素が重要な祭り囃子を取りあげます。

日本音楽全体からみれば、祭り囃子は声楽を伴わない純器楽音楽であることが大きな特徴です。日本音楽では三味線でも箏でも常に歌とともにあります。箏の曲として有名な「六段の調」は例外的に箏だけの変奏曲ですが、その特異さゆえに当時日本に渡来していたキリシタン音楽、すなわち西洋音楽の影響を考察する研究者もいるくらいです。

また古代に日本に伝わり 1300 年の伝統がある雅楽、その中の「越天楽」などの管弦の曲や舞楽（舞の曲）も、日本音楽では例外的な純器楽曲です。もっとも「越天楽」はその旋律が「越天楽今様」という歌物として民間に流布し、やがて民謡「黒田節」が生まれます。

## 2 囃すとはどういう行為か

たとえば木遣り、大勢で歌や掛け声を合わせて大木を運ぶ、長野県諏訪大社の「御柱祭」はまさにその例です。狂言で御主人の言うことを聞かなかった太郎冠者が、「傘をさすなら春日やんま……」などと歌いだすと、主人も知らず知らず身体が動いて踊りだし機嫌を直すという筋立てがあります。

祭礼研究の第一人者である植木行宣氏は「囃子とは神霊を揺り動かす力を秘めた行為」とおっしゃいます。文楽での『三十三間堂棟木の由来』で、わが子の声で動き出す柳の木の霊のお話のように、神霊、目に見えない神、時には良い神、時には疫病神、に働きかける秘めた力をもっていると定義されています。

## 3 祇園祭とは

7月に入るとおよそ1か月にわたる京都祇園祭の行事が始まります。歴史的には祇園御霊会といえます。御霊会とは人口集中に伴う都市を襲う数々の災害、疫病、水害などをもたらす疫病神を華やかに飾り立てた装置に依りつかせ、賑やかに囃し立てて地域の外に追出す行事です。つまり御霊会とは都市特有の夏の行事であり、五穀豊穡を願う農村の祭ではありません。これは全国に散らばる八坂神社、須賀神社、天王社など祇園系の神社の祭に共通します。

疫神を追いつためにはいったん始めた囃子を途中で止めてはいけません。その移動・行列のための音楽が祭り囃子です。

実際には声や楽器演奏によって中心となる演技（山車の巡幸や奉納芸）を引き立たせ、観客の心を揺さぶる役割があります。さらに音楽的に洗練されて耳に心地よい聴かせる音楽への発展があります。そのため祇園系ばかりでなく、山車や屋台が出る多くの祭では祭り囃子が必須の存在になっています。

ではどんな音楽でしょう。

## 4 主な使用楽器

なんととっても太鼓の類は欠かせません。太鼓の音は運行を促す力があります。一番簡素な囃子は太鼓だけです（敦賀祭りの山車、江戸天下祭りの大太鼓など）。鉦には江戸祭り囃子のように手で持つ、祇園囃子のように吊り下げる、あるいは二丁鉦といって小型の鉦を2つ枠に吊り下げ、Y字形のバチで同時に2つ鳴らすもの、などがあります。いずれも円形の縁付き皿状の内側凹面を叩きます（念仏系芸能では凸面を打つ）。笛は篠笛（竹笛）、龍笛、能管が主役ですが、神奈川県江の

島の唐人囃子ではチャルメラも使われます。篠笛は調子の高さによって1本調子から12本調子まであり、江戸祭り囃子の標準は6本調子、佐原囃子ではおよそ5本調子ですが、地元で手作りする例も多く必ずしも一定しません。グループの中では音高をそろえるのが普通です。ただし笛独奏者だけ他所から迎える所もあり、その場合1本調子など長い笛で技を披露する場合があります。京都祇園囃子は能管ですが、愛知県犬山祭では、能管と竹笛と町内によって違います。三味線も花街があった町ではよく使われますが、なかなか音を合わせるのが難しい楽器です。

## 5 楽曲構成

それぞれが役割をもった小曲を運行に合わせてつなげていきます。出発の曲からまっすぐに道を進む時、曲り角、神社での奉納、自町へ帰る時など、時と場合に合わせた曲をつなげていきます。どこの祭でもたいてい、これからお宮さんに向かう時の威儀を正した曲種と、お宮参りを終えてほっとしてあとは自分の町内へ帰る道筋で奏する、軽快でちょっと遊びのある楽しい曲種の別があります。あるいは道行、巡幸中に演奏する道行の曲と、神前やお花をもらった家の前でお礼に演奏する奉納曲の区別があります。お囃子のリーダーは運行責任者と連絡を取りつつ、これらの曲をつなげていきます。

代表的な3つの祭り囃子を例に紹介しましょう。

## 6 京都祇園囃子

祇園祭あるいは祇園囃子という名称は全国各地にありますので、ここでは「京都」と地名をつけました。実は、山車の移動には囃子が必要という、つまり御霊会には囃子が欠かせないという考え方は京都祇園祭がルーツですが、では京都の祇園囃子が全国に広がったかという点、少し違います。その音楽的影響はすぐお隣の滋賀県大津祭、京都府北部の亀岡祭、少し南に離れて三重県伊賀上野祭の囃子にほぼ限られています。実際かなり

複雑な音楽構成は簡単には真似できるものではありません。影響を受けた3か所も笛は龍笛に変わり、内容も必ずしも京都そのままではありません。東北の青森や秋田の方が、京都へ行って自分たちの祇園囃子とまったく違う音楽にびっくりした、などという話はよくあります。

### (1) 楽器構成

京都祇園囃子の楽器構成は、笛（能管）と鉦が各6～8人、締太鼓2人が標準的です。鉦の前正面に締太鼓2人が向かい合って（横向きに）座り、横腹を見ると、片側には笛方がずらりと並び、もう一方には鉦方が並びます。そして「コンコンチキチン」の吊鉦の金属音がよく響き、特徴的です。日本民俗音楽学会の京都大会で祇園囃子のシンポジウムをやったことがあります。祇園囃子の特徴のひとつは音楽の組み立て方にあるのですが、やはり鉦の音が特色ではないか、となりました。鉦を作り変える時は響きの良さを重視して注文するそうです。ちなみに江戸祭り囃子の秘曲（間物）にキリンという曲がありますが、ゆったりとした非常に位の高い特別な曲で、「コンコンチッチ」とこの曲だけ鉦を手に載せるのではなく吊り下げます。

### (2) 渡り囃子（奉納囃子とも）と戻り囃子

まず出発して京都四条通りをまっすぐ東へ向かう時のゆっくりと厳粛な気分の渡り囃子、そして突き当りの八坂神社にぶつかり、辻回しをして北へ方向転換、自分の町内に向かう時は軽快な戻り囃子になります。

太鼓と鉦は1つのまとまりとなって固有の曲名をもちリズムを支えます。その上に笛のメロディーがのっかっています。渡り囃子には地囃子、神楽などの曲が、戻り囃子には朝日、青葉などより多くの曲が、ふたつの囃子のつなぎになる唐子、唐子の流しなどの曲があります。

### (3) 山鉦屋台合わせて34基参加

京都祇園祭には2024年現在、山鉦屋台あわせて34基が参加しています。うち稚児をのせた鉦が6基、鞆鼓を胸に付けた生き稚児がのるのは先

頭の長刀鉾だけで、残りは人形です（これは中世に鉾にのっていた囃子連中の名残です）。6基の高い鉾柱の頂きには、それぞれ長刀、月、鶏などの印が付いています。お馴染みの船鉾と近年復活の大船鉾は、名前は鉾ですが稚児も鉾柱もないので、分類上は屋台になります。見かけは鉾と同様大型で、鉾柱ではなく松の木を立てた大型の曳山が4基あり、この鉾6基、船鉾と大船鉾の2基、大型曳山4基の合計12基に祇園囃子がのります。

大船鉾と鷹山はごく最近の復活ですが、復活に際しては山本体を造る作業と並行して囃子を稽古して準備していました。小型のか昇き山20基は唯一のとうろうやまからくり仕掛けの蟠螂山や人形飾りの橋弁慶山、浄妙山のほか、大部分は傘や塚、真松を立て物語にちなんだ人形を配し社殿風の趣向をこらしています。昇き（担ぎ）山ですが今は全てキャスターをつけています。

#### (4) 囃子保存会

囃子保存会は町内密着型です。現在町内に住んでいる住民はどんどん少なくなっていますが、地縁血縁を頼りに強いきずなの会になっており、年間通して稽古をしています。子どもたちはまず鉦の稽古からはじめ、最初の10年位は鉦譜だけを頼りに徹底的に身体にリズムを浸み込ませ、それから笛や太鼓に移ります。笛譜もありますが個人的に参考にする程度、揺れる巡幸中では暗譜が必須です。

#### (5) 綾傘鉾と四条傘鉾

京都祇園祭には上述の祇園囃子のほかに、風流囃子物の原型ともいべき2つの傘鉾に付属する囃子が演奏されています。綾傘鉾では太鼓・笛に合わせて棒振り踊り、四条傘鉾では滋賀県に伝わる民俗芸能ケンケト踊りを参考に復元された子どもたちの棒振り太鼓が演じられます。

## 7 江戸祭り囃子

### (1) 楽器編成と楽曲構成

江戸時代の祭礼図を見ると、現在のような楽器編成に定まるのはごく江戸後期だと分かります。

それまでは大太鼓だけ、あるいは締太鼓も1個だけなどいろいろでした。現在は5人囃子と言って、篠笛1、締太鼓2、大太鼓1、鉦1、補助的に拍子木がつくことがあります。その音色からトンビと通称される篠笛は軽やかに、2個の締太鼓は掛合をします。元々は麻ひもで締めますが、より固い響く音響を求めてボルト締めをしている所も多いです。大太鼓はビヤ樽型の鉦留太鼓です。

現在のような屋台－聖天（昇殿）－鎌倉－師調目（四丁目）－屋台という、組曲「ひとつばやし」に整ったのは明治になってからのようです。行列して演奏するだけならこのような組曲は必要ありません。「ひとつばやし」の中に「まもの間物」という小曲（神田丸、亀戸、鞆鼓など）を挟んで、より音楽的にじっくり聴かせるための神楽殿など居囃子の場もできました。また賑やかしのためキツネや獅子の踊りがつきました。

実は現在の神田祭や三社祭はもっぱら町神輿がワッショイワッショイ人気ですが、江戸時代はまったく違っていました。宮神輿（神田祭では2基）がしずしずと出ていましたが、祭り囃子は仮装行列や華やかな踊りの出る付祭つけまつりの人気にはかきませんでした。付祭には歌舞伎の役者や長唄、浄瑠璃など鳴物連中、踊りの師匠に習っている町の女子供たちが一緒になって行列や芝居を盛り立てていました。各町内の趣向を紹介する番付表も印刷され、江戸城内にまで繰り込み大奥の人気もさらいました。

江戸時代後期になって山車に乗る囃子の楽器構成も5人囃子に整ってきますが、天下祭（將軍家産土神日枝神社、古くは山王大権現の山王祭と江戸総鎮守神田明神の神田祭）では、江戸城の中に入る際にはあまりうるさく派手に囃すなどお達しが出ています。

幕末になって華やかな付祭が少なくなると、それまで山車の飾りの陰にうもれるようだった囃子連中の席は山車の正面に日よけの覆いが付いて目立つようになり、その音も注目されるようになります。ついでに言うなら、東京都心の祭が町神輿

全盛に変わっていったのは、明治も後期、大正時代にかけてのことで、町内結束の印として町ごとに神輿を出すようになったのです。

## (2) 江戸祭り囃子の拡がり

二層檣の上に人形を載せた江戸型人形山車の行列という江戸天下祭の形は、現在東京多摩地区の青梅祭や近隣の埼玉県川越祭など関東圏に広く残っており、その多くに江戸祭り囃子系統の囃子がのっています。その音楽的影響は埼玉県秩父屋台囃子や千葉県佐原囃子など周辺へも拡がっています。

なにより少人数で楽しめる軽快な音楽は仲間も作り易く、町内所属の団体ばかりでなく、同好会を組織して独自に各地の祭に参加するなど、より自由な活動も目立ちます。

## 8 佐原囃子

### (1) 下座連の拡がり

千葉県と茨城県が境を接する「ちばらき」と通称される利根川中下流一帯に稠密に分布するのが佐原囃子です。その中心である千葉県香取市の佐原大祭（夏・秋）には佐原町内のほか県内成田市や利根川対岸の茨城県潮来や鹿島からも下座連（芸座連）と呼ばれる囃子連中が参加しています。

町内所属のグループもあれば同好者の集まりもあります。周辺の連中は地元の祭でも囃し、佐原祭にも参加し、佐原町内の下座連の場合も自町だけでなく他所の祭にも出かけていきます。町と下座連との結びつきも、数十年という長い付き合いもあれば数年で代わってしまう場合もあります。3日間ほとんど終日という長時間の演奏は、体力的にもきつく、若さと人数が揃わないと務まらないという事情があります。女性の多くは踊り手にまわり、囃し手には学校のクラブ活動以外女性は少ない目です。

### (2) 楽器編成と楽曲構成

江戸祭り囃子の影響を強く受けながらも（特に役物）独自の楽器構成と楽曲を持っています。篠笛5～8人、小鼓3～5人、大太鼓1人、締太鼓（2

個並べて1人で）、鉦1人、ボルト締め大鼓をバチで打つ人が指揮者役を務めます。

楽曲は役物（出発時と帰町時や儀式としてのさんざりなど）、段物（大通りを曲を聞かせながら静かに通る時）、端物（民謡や流行り歌のアレンジ）の区別があり、端物には「あんば」「大漁節」など千葉県の民謡、「ひとつとや」とうたう「松飾り」、「船頭小唄」など古い流行歌や軍歌、踊りがつく「佐原小唄」など親しみのある歌が多く、戦後生まれの曲もあります。

さんざりを聞くとどこの町内か、どの師匠筋（流派）か分かります。町内の子どもたちは母親の胎内に居る時から踊りの曲を聞いているといわれるくらい踊りに親しんでいます。囃子に合わせて歌ったり踊ったり、山車の引き手もともに楽しめるのが、佐原囃子の大きな魅力です。

## 9 稽古の現場から

町内の祭のために子どもを指導するのは多くは町の長老ですが、愛知県犬山祭では自ら囃子を担当する若い衆が子どもの太鼓も指導しています。町内密着型の囃子団体では、祭のためにある年齢になると自動的に稽古に参加します。

一般に幼児の場合まず太鼓あるいは鉦から始めることが多く、その中から笛に進む者が出てきます。子どもたちは「テレックテンテン」など口唱歌（クチショウガ・口三味線）を覚えてリズムを身に付けたのち、楽器に向かいます。笛は先輩の指使いを後ろから見て真似していきます。旋律は日頃耳にしているので自然に覚えられます。指数字譜を使うのはあくまでも参考です。

常に始めから終わりまで（巡幸順に）続けて通して稽古し、できない箇所だけ繰り返すことはあまりありません。一連の流れの中で身体に染み込ませます。そしてなにより祭あってこそその祭り囃子、祭の楽しさがあってこそその祭り囃子です。

### 【参考文献】

植木行宣・田井竜一編 2005『都市の祭礼一山・鉦・屋台と囃子』岩田書院  
(入江宣子)